

St. Luke's International University Repository

2006年度聖路加看護学会理事会報告

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10285/773 |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



学会記事

2006年度 聖路加看護学会 理事会報告

第1回

- 日時：2005年10月25日〔火〕 18:00～19:30
- 場所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事8名，監事1名

<審議事項>

1. 新理事長の挨拶後，新理事・監事が紹介された。
2. 聖路加看護学会第10回学術大会についての報告があった。
3. 2005年度第1回評議員会・第10回聖路加看護学会総会議事録の承認
4. 3名の指名理事が承認された。
5. 学術交流委員会の新しい委員5名が承認された。
6. 新入会員の承認：3名の入会が承認された。
7. 学術交流会の開催時期やテーマなどについて検討した。
8. 広報委員会について提案されたが，今年度は従来通りで行い，継続審議することとなった。
9. 小澤道子氏より理事の辞退の申し出があり，新理事を選出することとなった。
10. 日本学術会議より「日本学術会議協力学術研究団体」への移行措置に関する問い合わせがあり，本学会として日本学術会議協力学術研究団体への手続きをすることが承認された。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員会より，本年度の活動計画と新しい委員について検討する旨の報告があった。
2. ニュースレター委員会より，本年度の活動計画および11月にニュースレターを800部発刊する予定であることの報告があった。
3. 学術交流委員会より，5名の新しい委員の紹介があった。
4. 庶務より，10月1日現在の会員数の確認および本年度庶務計画，医学書院や医歯薬出版からのアンケート依頼への回答について報告があった。
5. 会計より前回会計担当者から引継ぎを受け，活動を開始する旨の報告があった。

第2回（書面理事会）

- 日時：2005年11月18日〔金〕付
- 回答者：理事9名，監事2名

<審議事項>

1. 2006年度聖路加看護学会第1回理事会議事録の承認
2. 新理事の承認：高木廣文氏が新理事として承認された。
3. 日本看護学会協議会の役員候補者の情報提供について
4. 2006年度入会のしおりについて承認が得られた。

第3回

- 日時：2006年1月20日〔金〕 18:00～19:30
- 場所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事8名

<審議事項>

1. 聖路加看護学会第10回学術大会の収支報告があった。
2. 2006年度第2回書面理事会議事録の確認
3. 小澤道子氏より評議員辞退の申し出があり，亀井智子氏が評議員として承認された。
4. 各委員会委員（学会誌編集委員会；9名，ニュースレター委員会；1名）が承認された。
5. 新入会員の承認：1名の入会が承認された。
6. 退会者の承認：11名の退会と1名の死亡による会員資格喪失が承認された。
7. 年会費未納者への対応について
2005年度より遡って3年以上の年会費滞納者が64名おり，再度年会費の請求をしても納めない者は自動退会とすることを検討し，それが承認された。
8. 第11回学術大会・交流集会のプログラム案が出され，交流集会はCNS教育をテーマとして取り上げたらどうかという提案がなされた。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員会より，本年度の年間スケジュールと活動計画について報告があった。投稿規定を一部修正する予定であり，英文の要約に関して必ずネイティブチェックをするようにという文言を入れる方向で検討している旨の報告があった。
2. ニュースレター委員会より，2月末にニュースレター800部発刊予定であることの報告があった。
3. 学術交流委員会より，2006年度の学術交流会は，6月ごろに開催予定であるとの報告があった。
4. 看護系学会等社会保険連合の第2回役員会議の報告について
会員数によって拠出金が決まっており，聖路加看護学会は5万円支払うことが決まった。
また，看保連には2つの委員会（①看護技術検討委員会と診療報酬，②介護報酬体系在り方に関する検討委員会）があり，聖路加看護学会は②の介護報酬体系在り方に関する検討委員会に属することとなった旨の報告があった。
5. 庶務より，学術会議協力学術研究団体への登録手続きを行ったこと，ホームページの更新を行ったこと，著作権に関するアンケート（学術著作権協会，国立大学図書館協会）への回答をした旨の報告があった。また，日本学術会議より1週間に一度ニュースメールを理事・監事に送るようにしたこと報告があった。

6. 会計より2006年度の年会費の請求を3月のニューズレターと一緒に発送することの報告があった。

第4回

- 日時：2006年3月17日〔金〕18:00～19:20
- 場所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事7名

<審議事項>

1. 2006年度第3回理事会議事録の承認
2. 新入会員の承認について：7名の入会が承認された。
3. 退会の承認について：1名の退会が承認された。
4. 第11回学術大会の交流集会以取り上げるテーマとして、CNS教育について行うこととなったが、誰が企画するか検討し理事会企画で行うこととなった。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員会より、10巻1号の投稿原稿の投稿状況(11編)および査読の報告があった。
2. ニュースレター委員会より、No.19のニュースレターが3月に800部発刊したとの報告があった。
3. 学術交流委員会より、2006年度の学術交流会の日時(7月8日)、テーマ(看護の社会貢献—国家資格をどう生かすか—)、講師(清水嘉与子氏)が決定したとの報告があった。
4. 看護系学会等社会保険連合より、看保連の事務局の設置、本組織の目的、組織の構成、委員会、役員(代表：井部俊子氏、副代表：紙屋克子氏と榮木実枝氏、監事：佐藤エキ子氏と竹内幸枝氏、委員長：野末聖香(看護技術検討委員会)、岡谷恵子氏(診療報酬および介護報酬在り方に関する検討委員会)及び役員の任期(2年)、本組織の運営にかかる費用、基本拠出額についての報告があった。
5. 庶務より、日本看護系学会協議会の役員選出の報告、日本学術振興会からの平成18・19年度採用分特別研究員—RPDの募集要項の紹介、聖路加看護大学の卒業生・修了生(105名)に学会入会のご案内をした旨についての報告があった。

第5回(書面理事会)

- 日時：2006年4月21日〔金〕付
- 回答者：理事10名、監事1名

<審議事項>

1. 2006年度聖路加看護学会第4回理事会議事録の承認
2. 新入会者の承認について：9名の入会が承認された。
3. 短期(1年程度)滞在外国人の学術集会以での発表について短期滞在外国人の学術集会以での発表は、これまで学会員になったうえで発表し、帰国する際には退会するという形をとってきたが、非会員でも発表できる場を作ってほしいという旨の申し出が会員からあった。そこで、聖路加看護学会の国際化をめざして、短期滞在している外国人にも学術集会以での発表の機会が多く与えられると良いのではないかと

その際に、短期滞在外国人に限り、会員にならなくても当日の学術集会以の参加費(非会員)を払えば良いのではないかとということで検討した。その結果、意見が分かれたため次回の理事会で再度検討することとなった。

第6回

- 日時：2006年6月16日〔金〕18:00～19:45
- 場所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事8名

<審議事項>

1. 2006年度第5回書面理事会議事録の承認
2. 新入会員の承認について：11名の入会が承認された。
3. 退会の承認について：3名の退会が承認された。
4. 自動退会(会員資格喪失)について
2005年度から遡って3年以上年会費を滞納している64名に関して2005年冬に再度年会費の督促をしたが、うち48名は会費が納入されていない。この48名に関する取り扱いについて検討した結果、会員資格喪失者(年会費3年以上滞納者)として承認された。
5. 短期(1年程度)滞在外国人の学術集会以での発表について

これまでは、短期滞在外国人の学術集会以での発表に関しては、会員にならなくてはならない状況であった。昨年度の総会では将来構想委員会から提案のあった活動報告において、研究のグローバルをめざすこと、学術集会以において英語での発表を認め、また海外の研究者の参加を積極的にすすめ、国内外への研究の発信をはかることが認められている。よって、このような方たちの発表に関して、会員でなくても発表を認めても良いのではないかとという提案がなされ、承認された。ただし、学術大会での発表に関する内規を作っておいたほうがよいという意見がだされ、早急に内規を作り書面理事会にかけることとなった。

6. 2006年度の事業計画案の遂行状況について
今年度の事業計画についての遂行状況について確認がなされた。1) 第11回学術大会開催に関して、2) 第10巻の学会誌の発行、3) ニュースレターの発行、4) 会員相互の学術的交流(7月8日に学術交流委員会主催講演会開催予定)は進んでいる。しかし、会員の拡充に関して、入会者はいるものの会員はやや減少している。2005年度までの年会費3年以上滞納者の会員の整理を行うと、昨年度の総会での会員数623名と比較し明らかに減っている。今後、会員の拡充、聖路加看護学会の今後のあり方や方向性を検討していったほうが良いという意見がだされた。
7. 学会誌の販売価格の検討について
学会誌編集委員より古い学会誌がかなりあまっております。毎回学術大会で販売しているがあまり売れな

いため、値段を下げて販売してはどうかと提案された。検討の結果、会員も非会員も、2003年度以前の（過去3年以上経過した雑誌）雑誌は1000円で販売してよいという意見がだされ、それが承認された。また、図書館などの機関からバックナンバーの購入希望があった場合は、これまでと同様の販売価格とすることとなった。また、庶務より2006年度から年会費が値上げとなったため10巻以降の学会誌販売価格改定案について説明があり検討した結果、1号は2500円、2号は1000円と決定した。

8. 学会誌に投稿された原稿の転載許可について

今年度の第10巻1号に掲載予定の投稿原稿で、COE報告書にそのまま転載したいという依頼があり、それに関する取り扱いについて協議された。検討した結果、転載することが利益にかかわらなければよいのではないかと、またCOE報告書ということで二重投稿にはならないと思われるとのことであり、今回の転載許可は承認された。

9. 日本学術会議からの「科学倫理への取組」のアンケートへの回答について

学会としての研究倫理に関する取り組みについて確認を行った。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員会より、第10巻1号の編集が終わって現在印刷中であり、6月末に学会誌の発送予定であることの報告があった。
2. ニュースレター委員会より、2006年度はニュースレター委員が1名欠員の状態で活動を行ってきたため、委員の補充をしたいことの報告があった。
3. 学術交流委員会より、7月8日（土）の学術交流会についての報告があった。
4. 庶務より、聖路加国際病院新人職員と大学教員・大学院生への学会入会のご案内をしたこと、6月現在の会員数（642名；退会希望者、年会費滞納者含む）などについて報告があった。
5. 第11回聖路加看護学会学術大会について
第11回聖路加看護学会学術集会のプログラムと事前参加申し込みの状況について報告があった。

第7回（書面理事会）

●日 時：2006年7月12日〔水〕付

●回答者：理事10名、監事1名

<報告事項>

1. 2006年度聖路加看護学会第6回理事会議事録の承認
2. 新入会者の承認について：9名の入会が承認された。
3. 退会者の承認について：1名の退会が承認された。
4. 学術集会における短期滞在外国人の発表に関する申し合わせ事項について
以下の申し合わせ事項（案）が検討され、次のように承認された。
2005年度の将来構想検討委員会で提案された1つとして「研究のグローバル化をめざす」ために学術

大会において英語での発表を認め、また海外の研究者の参加を積極的にすすめる国内国外への研究の発信をはかることについて、2005年度の聖路加看護学会総会によって承認されている。

本申し合わせは、上記の提案および聖路加看護学会会則第一章第3条および第六章第23条に基づき

学術大会における短期滞在外国人の発表に関する申し合わせ事項について定めるものである。

1. 発表資格について

- 1) 短期滞在外国人は、本学会に入会しなくても下記の要件を満たせば本学術大会で発表できる資格が得られることとする。
- 2) 発表できる短期滞在外国人は、本学会員の推薦があった短期滞在外国人あるいは、共同発表者に本学会員が含まれている短期滞在外国人に限る。
- 3) 短期滞在外国人とは、外国籍の者で1年程度日本に滞在し、看護に関することを研究している者とする。
- 4) 日本人の共同発表者は、本学会員に限る。

2. 学術大会での発表について

- 1) 学術大会で発表する場合、当該学術大会が定めた方法に従って発表手続きを行う。
- 2) 参加費は、非会員の参加費と同様とする。
- 3) 抄録および発表に使用する言語は、英語とする。

3. 申し合わせの改廃

- 1) この申し合わせの改廃は、聖路加看護学会理事会が行う。

（付則）

この申し合わせ事項は、平成18年8月1日から施行する。

5. 2006年度聖路加看護学会総会プログラムの承認

第8回

●日 時：2006年9月1日〔金〕18:00～19:45

●場 所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム

●出席者：理事8名、監事1名

<審議事項>

1. 退会者の承認および資格喪失者の会員継続について

退会者3名が承認された。また、会員資格喪失者の会員継続1名も今回に限り承認された。6月の理事会では、2005年から遡って3年以上年会費を滞納している48名に関して資格喪失者として承認され、その方達へのお知らせはしなくてよいこととなっていた。しかし、48名のうち資格喪失者1名より滞納分の年会費が8月になって支払われた。よって、今回の1名は継続会員として取り扱うこととなった。3年以上年会費滞納者にも資格喪失したことをお知らせすることとなった。

2. 学術集会講演集の買い取りについて

第11回の学術集会から事務局で必要な講演集を実

費×冊数の値段で買い取ることが承認された。

また、来年度からの講演集の買い取り冊数は50冊で承認された。

3. 2007年度事業計画案について

将来構想検討委員会立ち上げについての計画を追加することとなった。

4. 2007年度予算案について

来年度の収入および支出について説明された。支出について学会誌1号の郵送費はこれまで庶務費に計上されていた。しかし、来年度からの学会誌1号の郵送費を編集委員会の予算に計上したいと会計より提案され、承認された。ただし、ニュースレターの郵送費に関しては、ニュースレター以外のものを同封（年会費の請求など）するためこれまで通り（庶務費のなかの通信費に計上する）となった。また、学術大会準備金を一般会計ではなく特別会計にするとよいのではないかという提案がなされ、今年度から特別会計として提示することとなった。

5. 総会の進行について

総会の進行について説明がなされ、そのまま承認された。

6. 総会資料について

総会資料に関して、数カ所の誤植や修正箇所があるので、それを見直して仕上げることとなった。

7. 第13回学術大会大会長の推薦について

数名の候補者が推薦され、次回の理事会までに理事長が打診することとなった。

8. 将来構想検討委員会について

これまでも将来構想検討委員会を立ち上げて、学会の名称や今後の方向性などを検討してきた。

それに引き続き、将来構想検討委員会を立ち上げて学会の方向性や学会名の検討など抜本的な見直しをしたほうがよいのではないかという提案がなされ、2007年度の事業計画案に将来構想検討委員会の立ち上げについて追加することとなった。

9. ホームページについて

来年度からニュースレター委員会がホームページ管理も含めて活動することとなった。

<報告事項>

1. 2006年度第7回書面理事会議事録の承認
2. 学会誌編集委員会より、今年度の委員会活動の報告、聖路加看護学会誌10巻1号を発行したこと、今年度の検討事項などについて報告がなされた。
3. ニュースレター委員会より、今年度の委員会活動の報告がなされた。
4. 学術交流委員会より、予定通り学術交流会を開催したことの報告がなされた。
5. 看護系学会等社会保険連合委員会より、今年度の活動について報告がなされた。
6. 会計より、今年度の予算執行についての途中経過が報告された。
7. 庶務より、今年度の会員数の動向および年間活動について報告がなされた。

第9回

●日 時：2006年9月22日〔金〕 16:00～17:15

●場 所：聖路加看護大学5階505・506共同研究室

●出席者：理事10名、監事1名

<審議事項>

1. 2006年度決算について
会計より決算報告がなされ、承認された。
2. 2007年度予算案について
会計より予算案の説明がなされ、承認された。
3. 退会希望者の承認について
退会者2名が承認された。
4. 総会プログラムの確認
総会プログラムの進行について説明と確認がなされた。
5. 第13回学術大会会長について
理事長より、第13回大会長に杉本正子氏（東邦大学）を推薦するとの提案があった。

<報告事項>

1. 2006年度第8回書面理事会議事録の承認
2. 会計より収支の経過報告および会計監査を受けたとの報告がなされた。
3. 監事より、監査の経過報告がなされた。
4. 第11回学術大会企画委員会より、大会の準備状況について説明があった。